

水害・土砂災害 ハザードマップ

ハザードマップの使い方

1 自宅を見つけましょう

自宅やよく行く場所の水害や、土砂災害が起こる可能性を確認しましょう。



2 避難先を確認しましょう

水害や土砂災害からの避難方法を確認しましょう。避難が必要な場合は、適切な避難先を確認し、大きく印をつけましょう。



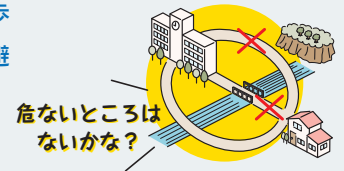
3 安全な避難経路を決めましょう

浸水の危険性がある箇所や土砂災害警戒区域などの場所を確認し、安全な避難経路を複数決めましょう。



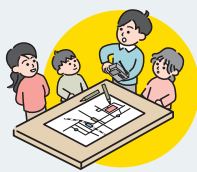
4 実際に避難経路を歩いてみましょう

家族やご近所の方と一緒に歩いて、危険な箇所があれば、避難経路を見直しましょう。



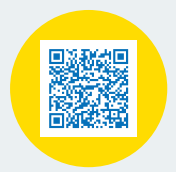
5 家族で災害時の対応を話し合いましょ

大雨の際の行動について、家族や支援者などと話し合い、災害時の避難先や約束事を決めましょう。



6 マイ・タイムラインを作成しよう

QRコードを
使用できない方は
P3へ



避難先を考えましょう!! 《あなたが避難する場所》

| | 避難先 | 移動方法 | 移動時間 |
|------|-----|------|------|
| 第1候補 | | | 分 |
| 第2候補 | | | 分 |

避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難する必要はありません。安全な場所にある親戚や知人の家、ホテルや旅館なども有効です。

〈家族の約束事など〉

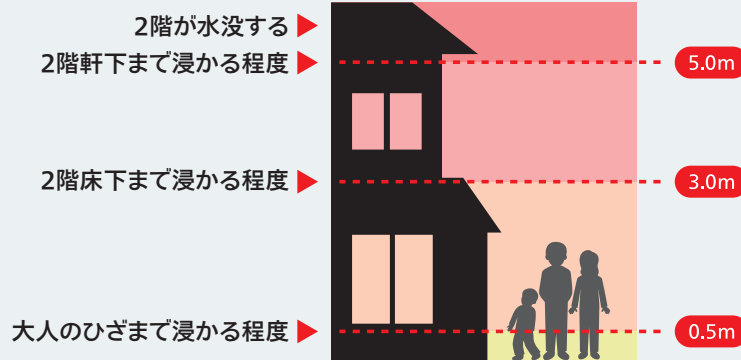


メモ

ハザードマップで 身の回りのリスクを把握しましょう

水害・土砂災害の凡例の確認方法など

浸水深の目安



浸水した場合に想定される水深 [ハザードマップ凡例]

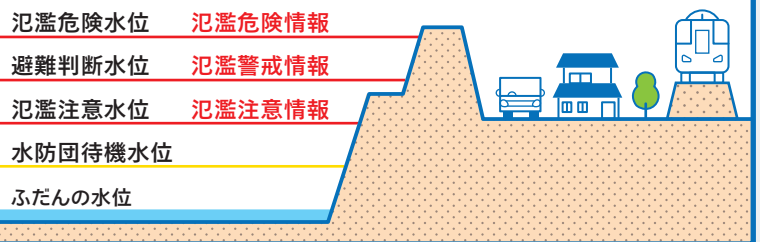
- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3m未満の区域
- 3m～5m未満の区域
- 5m～10m未満の区域
- 10m～20m未満の区域
- 20m以上の区域

河川の水位情報

川の水位が増え、あらかじめ定めた水位に達した時、和歌山県から周知されます。

また、氾濫に関する情報は危険度に応じてレベル化され、水位名称と合わせて伝達されます。

河川の水位名称



土砂災害の種類と地図上表示

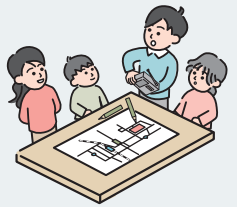
大雨のときには、以下のような土砂災害の危険が高まります。前兆現象に十分注意しましょう。

| 種類 | 前兆現象 | | | | ハザードマップ凡例 | |
|---|------|--------------|------------------|-----------------|-----------|--|
| がけ崩れ 雨や地震などの影響によって、斜面が急激に崩れ落ちる | | がけに割れ目が見える | がけから水がふきだす | がけから小石がバラバラ落ちる | | |
| 土石流 細い川から、大量の土砂が水とともに流れ出して建物や道路を押し流す | | 山鳴りが聞こえる | 急に川がにごり、流木が混ざりだす | 雨続きなのに、川の水位が下がる | | |
| 地すべり 地下水などの影響で、広い範囲にわたって斜面がゆっくりすべり落ちる | | 細い川や井戸の水がにごる | 斜面や地面にひび割れができる | 斜面から水が噴き出す | | |

土砂災害(特別)警戒区域以外でも災害が発生する可能性があります。

避難の考え方

- 自宅の場所や建物の種類、災害の状況など、それぞれの場面に応じた適切な避難の仕方考えましょう。
- 安全な場所に自宅がある場合は自宅ですべての安全を確保しましょう。
- 危険が想定される場所にいる場合は早期に避難をしましょう。



分散避難を考えよう

緊急避難場所は多くの人々が集中し、感染症のリスクが高まる傾向があるため「分散避難」を考えましょう。

○屋内安全確保

- ・自宅が安全な場所にある。

○親戚・知人宅等への避難

- ・安全な場所に親戚・知人宅等がある。

※親戚・知人等には日頃から相談しておきましょう。

○緊急避難場所への避難

- ・自宅が水害・土砂災害の危険性が高い。
- ・避難できる親戚・知人宅等がない。

※すべての緊急避難場所を開設するわけではありません。
避難する前にどの緊急避難場所が開設されているか、市のホームページや地デジ・データ放送等で確認してください。

●安全な場所へ避難(水平避難)

水平避難は、安全な場所にある親戚・知人宅や緊急避難場所などへ避難することです。以下の場合、水平避難が必要です。

- ・自宅等が想定される浸水深より低い場所
- ・土砂災害(特別)警戒区域内
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域内



●頑丈な建物の2階以上または、近隣の高い建物へ避難(垂直避難)

浸水が始まっているときは、浸水深が浅くても水の流れによっては歩行が困難となります。無理をして屋外へ避難せず、高所へ垂直避難をしましょう。



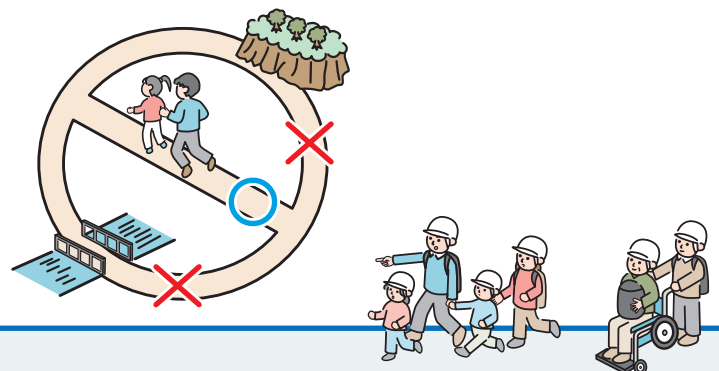
●建物内の安全な場所で待機(緊急安全確保)

夜間や危険が差し迫っている場合など、屋外へ避難するとかえって危険な場合は、緊急安全確保が必要です。



安全な経路で避難しよう

川沿いや急傾斜地(がけ)沿いの道は避けて避難しましょう。
大雨により、側溝やマンホールの蓋が外れている場合があるので、転落しないよう十分に注意し、近寄らないようにしましょう。



マイ・タイムラインってなに？

「マイ・タイムライン」とは、台風や大雨等の風水害の発生に備えて、自分自身や家族の行動をあらかじめ決めておく計画です。『自らの命は自らが守る』意識を持ち、事前に一人ひとりの状況に合わせ、事前の備えと、自分の「避難スイッチ」を考えることで、いざという時に落ち着いて安全に避難できます。

わが家の避難計画

台風や大雨で災害が起きそうなとき

1 避難先

避難の考え方は
2ページをご参照下さい

▶ ハザードマップで自宅の危険性を確認しましょう!!

| | |
|--|--|
| 浸水想定区域内 ですか? | <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ |
| 浸水深は? | m ~ m 1ページ「浸水深の目安」を参考に 避難を判断しましょう。 |
| 土砂災害(特別)警戒区域 または 家屋倒壊等氾濫想定区域 ですか? | <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ↳ 水平避難 |

避難先を確認して表紙の下部にメモしましょう。

2 避難のタイミング

▶ 自分自身や家族の状況、近隣の方の状況を確認しましょう!!

| | |
|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 避難に時間を要する | <input type="checkbox"/> 支援が必要な家族がいる |
| <input type="checkbox"/> 隣近所に支援が必要な方がいる | <input type="checkbox"/> 家族に小さい子供がいる |

⇒ 警戒レベル3 「高齢者等避難」で避難!!

| | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 避難に時間を要しない | ⇒ 警戒レベル4 「避難指示」で安全な場所にいる人以外は全員避難!! |
|-------------------------------------|------------------------------------|

3 いつ避難を開始するか、いつ何をするかを記入しましょう。▶ 2で確認した行動を参考にタイミングを書き込みましょう。

『マイ・タイムライン』作成シート 「さあ、避難!!」あなたの「避難スイッチ」は?

| 警戒レベル等 | 行動の目安 | | わたしの行動 |
|--|---|--|------------------------|
| | 基本事項 | 要支援者がいる場合 | |
| レベル1 ●大雨になりそう・ 台風が近づいている | <input type="checkbox"/> 天気予報や気象情報を確認 <input type="checkbox"/> 家の点検・補強 <input type="checkbox"/> 備蓄品等の確認 | <input type="checkbox"/> 家族やケアマネージャー等 支援者を交えて避難手段や タイミング等を確認 | (例) 非常持出品の確認 |
| 自主避難 レベル2 ●大雨注意報・ 洪水・高潮注意報 氾濫注意水位 等 | <input type="checkbox"/> 備品等(家財・貴重品)を 安全な場所に置く <input type="checkbox"/> 避難行動の確認 | | (例) 大切な物を2階にあげる |
| 高齢者等避難 レベル3 ●大雨警報・洪水警報・ 避難判断水位 等 ○エリアメール・ 緊急速報メール配信 | <input type="checkbox"/> 親戚・知人宅等に連絡 <input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設を確認 | <input type="checkbox"/> 避難開始 ☆避難に時間を要する方は避難!! | (例) 避難行動の声かけ |
| 避難指示 レベル4 ●土砂災害警戒情報・ 氾濫危険水位 等 ○エリアメール・ 緊急速報メール配信 | <input type="checkbox"/> 避難開始 ☆安全な場所にいる人以外は全員避難!! | | |
| 緊急安全確保 レベル5 ●大雨特別警報 氾濫発生情報 等 ○エリアメール・ 緊急速報メール配信 | ☆命を守るための最善の行動を!! | | (例) 逃げ遅れた場合、自宅の2階に避難する |

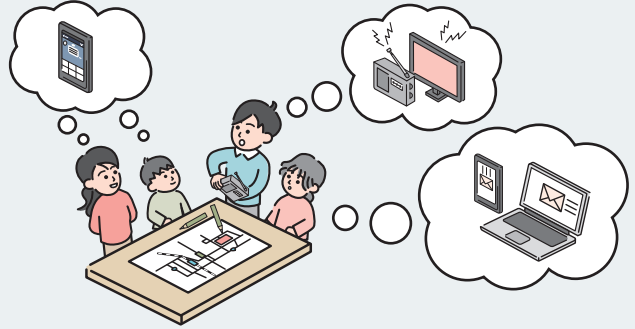


情報の入手方法と 日頃からの備え



情報の入手方法

自動配信されるもの^{プッシュ}(PUSH型)



海南市メール配信 サービス(事前登録)

パソコン・携帯電話に
防災情報等が配信されます。



自動電話(ファックス) 発信サービス(事前登録)

携帯電話をお持ちでない方等に
防災行政無線の放送内容が配信されます。



海南市LINE公式 アカウント(事前登録)

LINEに防災情報等が配信されます。



防災行政無線

防災情報や避難情報等が放送されます。



エリアメール・ 緊急速報メール

市内すべての携帯電話に避難情報等が
配信されます。

自身で情報収集するもの^{プル}(PULL型)



電話音声案内(フリーダイヤル) ☎ 0120-170089(通話無料)

放送内容を音声で聞くことができます。
(放送後1時間程度)



キキクル

気象情報や雨雲の動き等を
確認することができます。



海南市ホームページ

開設している緊急避難場所等を
確認することができます。



気象庁ホームページ

気象情報等を確認することができます。



和歌山県河川／雨量防災情報ページ

河川の水位や雨量等を
確認することができます。



テレビ・ラジオ

気象情報等を確認することができます。



テレビ和歌山(地デジ・データ放送)

- ① テレビ和歌山にチャンネルを合わせる
- ② リモコンの④ボタンを押す
- ③ 市町村情報(赤色ボタン)を押す

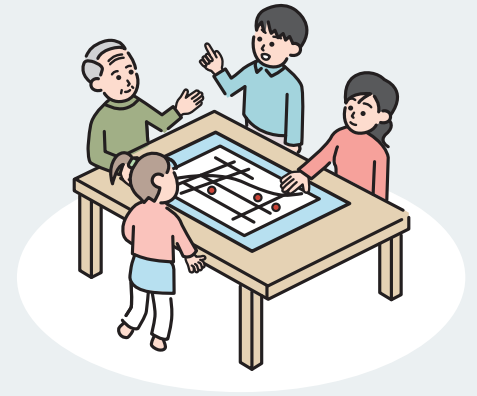
🔍 検索

QRコードを使用できない方は、
名称で検索できます。

日頃からの備え

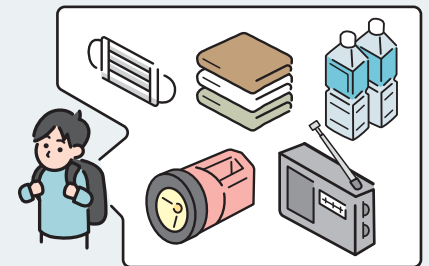
ハザードマップで自宅と避難先を確認しよう

- 自宅付近が浸水したときにどのくらいの水深になるかを確認しましょう。
- 安全な親戚・知人宅等や緊急避難場所を確認しましょう。災害の状況により、市が開設する緊急避難場所は異なります。避難する際は、市のホームページや地デジ・データ放送等で開設している緊急避難場所を確認してください。
- 自宅から避難先までの複数の道順を、ハザードマップに書き込みましょう。
- 地域では、このハザードマップを活用した訓練を行い、災害時の適切な行動につなげましょう。



避難時の非常持出品を確認しよう

- 非常持出品は日頃から準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- 非常持出品は、リュックサックなど、両手があくものに収まる程度にしましょう。
- 季節に合った準備をしましょう。(熱中症や寒さ対策など)



側溝や雨水ますを点検しよう

- 側溝や雨水ますをふさがないようにしましょう。
- 雨水ますの吸い込み口が落ち葉やごみで詰まると、道路浸水などの原因になります。



浸水に備えよう

- 家にあるもので浸水を防ぎましょう。土のうやプランター、家庭にあるごみ収集袋などを利用した水のうなどを使って浸水を防ぐことができます。
- 大雨の際には、洗濯機、トイレ、ふろ場の排水口など思わぬところから下水が逆流することがあります。排水口を水のうなどでふさぐことができます。



日頃から地域で声をかけ合おう

- ご高齢の方、子ども、障害のある方などは、災害時に情報の入手が遅れたり、迅速な避難行動が困難な場合があります。日頃から地域で声をかけ合い、どのように支援できるのか、考えておきましょう。





非常持出品、非常用備蓄品



非常持出品

普段から災害時に備え、避難する際に用意するものを検討し、下の表に書き込んでおきましょう。

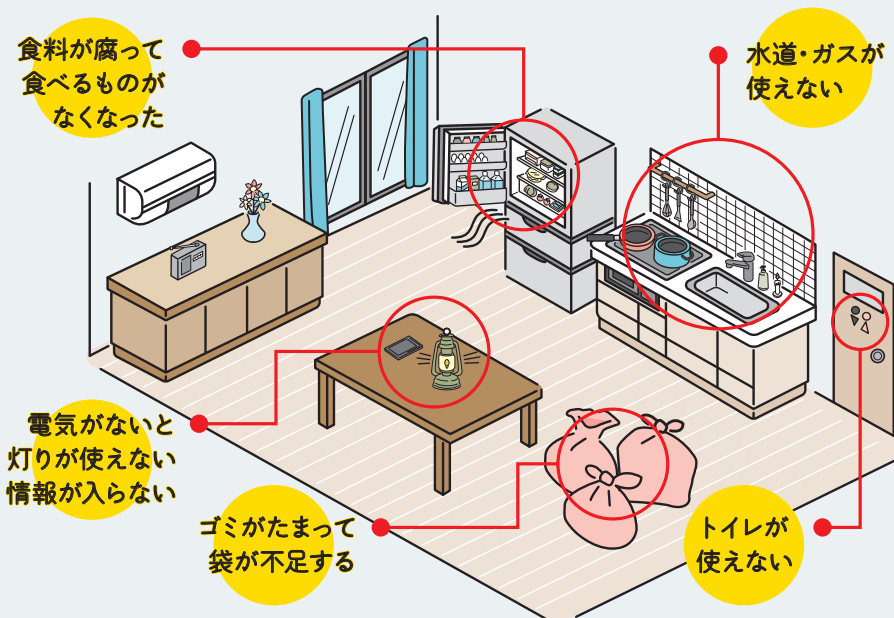
| | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 食料・飲料 | <input type="checkbox"/> タオル・着替え・おむつ | <input type="checkbox"/> 保険証 | | |
| | | | | |
| <input type="checkbox"/> 服用薬・お薬手帳 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯・電池 | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器含む) | <input type="checkbox"/> 子供用のミルク・おむつ |
| | | | | |
| <input type="checkbox"/> 入れ歯・補聴器・眼鏡 | <input type="checkbox"/> マスク・消毒液・体温計 | <input type="checkbox"/> ごみ袋 | <input type="checkbox"/> ペット用品 (ゲージ、ペットフード・シーツ) | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| | | | | |
| <input type="checkbox"/> ヘルメット | <input type="checkbox"/> 軍手 | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ・トイレ袋 | <input type="checkbox"/> その他 (財布、子供のおもちゃ、生理用品) | |
| | | | | メモ |

非常用備蓄品

水害時には、浸水被害などによってライフラインが使えなくなったり、垂直避難をした場合、長時間屋内から出られないことなどが想定されます。いざという時に備えて、災害発生後、数日間は自活できるよう、水・食料、その他生活用品など、7日分を目安に備蓄を行きましょう。

普段食べるものを少し多めに買い置きし、消費した分だけ買い足すことで、常に一定量の食料品を備蓄する方法(ローリングストック法)がおすすめです。

いざという時を想像し、何が必要か考えてみましょう。



困ったときの連絡先

海 南 市 …………… 073-482-4111
(代表)
海南警察署 …………… 073-482-0110
海南消防署 …………… 073-482-0119
下津消防署 …………… 073-492-0119

地域の
消防・警察



メモ

有料広告枠

消防(災害・救急)

119

警察(事件・事故)

110

災害用伝言ダイヤル

171

災害用伝言板Web171

<https://www.web171.jp>

インターネットを利用して被災地にいる方の
安否確認ができる伝言板です。

